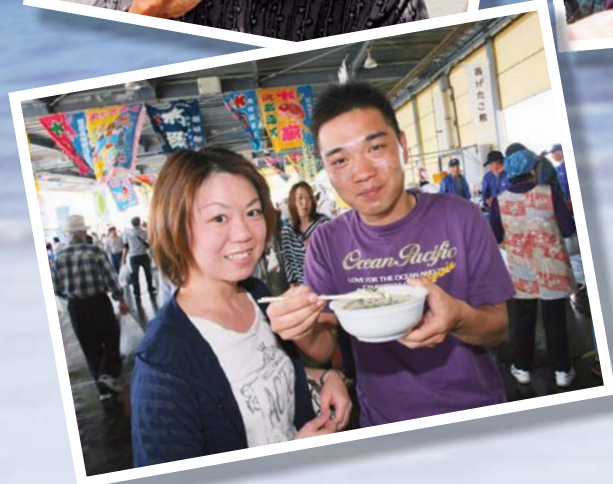




第2回 御前崎みな 魚水



会場に駆け付けた石原市長が、「カツオを食べて暑い夏を乗り切ろう」と来場者に呼びかけ、祭りは始まった。長蛇の列に、予定時刻を早めて1000人分のカツオの刺身と生シラスが無料配布されると、その場で食べた子どもからお年寄りまでが、口を揃えて「カツオ大好き」、「もつと食いたい」、「会場の雰囲気も最高」と笑顔で答えてくれた。かつお飯やガワ、伊勢エビ汁、サザエのつぼ焼きなども販売され、来場者は御前崎の海の幸を堪能した。カツオ700匹と生シラス300キも、市価のおよそ半値とあって、飛ぶように売れていた。

御前崎に水揚げされるカツオを待っている人はたくさんいる。この日、会場に訪れたみんながカツオで幸せになった。